

報告・協議 3

広島県特別支援教育ビジョン改訂案に係る
県民意見募集の結果について

このことについて、別紙のとおり報告します。

令和2年1月10日

広島県教育委員会教育長 平川理恵

広島県特別支援教育ビジョン改訂案に係る
県民意見募集の結果について

意見募集の結果と、寄せられた意見に対する県の考え方は次のとおりです。

1 実施期間と結果

期 間	令和元年 10 月 21 日（月）から 11 月 20 日（水）まで
意 見 数	51 人（個人 49，団体 2），109 件

2 寄せられた意見の内容と意見に対する県の考え方

項目	件数	寄せられた意見の内容	意見に対する県の考え方
理念及び全般	41 件	<p>現行ビジョンを踏襲しつつ、今の時代に合わせて発展させたものとなっている。</p> <p>「社会モデル」の理念をビジョンに取り入れるべきである。</p> <p>障害者権利条約が求めるインクルーシブ教育の理念が含まれていない。</p>	<p>頂いた御意見を参考に、特別支援教育の充実を図ってまいります。</p> <p>多くの方々からインクルーシブ教育に関する御意見を頂きました。頂いた御意見を踏まえ、本ビジョンの前文及び理念に、広島県教育委員会のインクルーシブ教育システム構築の考え方を追記します。</p>
支援体制の整備	4 件	<p>市町教育委員会の就学相談支援体制の支援について、具体的な支援内容が必要と思います。</p>	<p>頂いた御意見を参考に、今後の取組について検討してまいります。</p>
個別の計画等	6 件	<p>個別の教育支援計画は、校種間できちんと引き継がれていけば、もっと効果を発揮できると思います。</p> <p>個別の計画等の作成など、過剰な内容の書類作成が担任、関係者の大きな負担となっている。</p>	<p>頂いた御意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>頂いた御意見を参考に、作成者の負担軽減について、検討してまいります。</p>
交流及び共同学習	5 件	<p>特別支援学校との学校間交流，居住地校交流は、もっと推進できるようにしなければならない。</p>	<p>学校における先進的な取組を県教委の HP や各種研修等で周知します。</p> <p>また、障害保健福祉担当部局と教育委員会とが連携して、学校への情報提供や学校と関係団体・施設をつなぐ方策を推進します。</p>

項目	件数	寄せられた意見の内容	意見に対する県の考え方
教員の専門性向上	12件	<p>全ての教職員に対しての(特別支援教育に関する)研修が必要となると思います。</p> <p>特別支援学級,通級指導教室の指導者の資質・能力が高まるよう体系的な研修が必要である。また,確実に人材が育成されるよう計画的な取組を期待する。</p> <p>大学卒業時まで特別支援学校教諭免許状を取得する学生を増やす等,採用前の具体案が必要ではないか。</p> <p>専門性の追求として力を入れていくべきは,小中高等学校・通常の学級における指導に関する教員の力量の向上でなければならない。</p> <p>通常の学級において,支援員等の教員以外の教職員の専門性の向上が求められると良いのではないのでしょうか。</p>	<p>頂いた御意見を参考に関係課等と連携し,効果的な取組を進めてまいります。</p>
高校通級	3件	<p>高等学校における通級による指導の実施に当たっては,より円滑に実施がされやすい支援体制が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>頂いた御意見は,今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
特別支援学校の授業の充実	2件	<p>「3 特別支援学校における教育の充実」の「(1) 障害の特性等に応じた指導上の配慮の充実等」について,「指導上の配慮」の示し方であると支援の意味合いが強いので,「指導及び指導上の配慮」とした方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>教育課程改善に特化して取り組む教員,授業改善に取り組む教員,分掌業務に特化して取り組む教員等を設ける等,学校組織の在り方をより柔軟に検討しても良いのではないのでしょうか。</p>	<p>頂いた御意見を基に,表記を修正いたします。</p> <p>頂いた御意見は,今後の取組の参考にさせていただきます。</p>

項目	件数	寄せられた意見の内容	意見に対する県の考え方
職業的自立を促進する取組	10件	<p>就職については、企業の希望ニーズよりも企業に雇用を働きかけるべきで、当事者に負わせる課題ではないと思います。</p> <p>学びの場である学校が、職業訓練所のようにならないようにしてもらいたい。</p> <p>技能検定の実施にあっては、スキルの習得よりも、態度など人間としての育ちが重要だと考える。</p> <p>離職の原因を分析できているのか。技能検定1級を取れば、働き続ける力が付いていると言えるのか。</p> <p>高等部卒業者就職率の全国順位1位という数値目標が、数値を上げることを優先してしまい生徒の希望や実態よりも優先されていくことにならないか心配です。</p>	<p>特別支援学校に JST(就職支援教員)を配置し、企業での就業体験や職場実習の受入、求人企業の開拓等を行っています。</p> <p>また、「特別支援学校就職サポート隊ひろしま」登録制度を設け、企業との連携・協力を行うことにより、企業側の雇用促進を図っています。</p> <p>頂いた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>離職の原因は、毎年行う各学校からの調査回答により分析を行い、就職支援や進路指導に生かしているところです。</p> <p>一概には言えませんが、実際に高等部卒業生のうち、卒業までに技能検定1級を取得した生徒は、離職率が低いとのデータがあります。</p> <p>障害のある者が働きやすい社会は共生社会の実現に近づくことであり、個々の希望や実態に応じて自立や社会参加が図られることを目指したいと考えています。</p> <p>目標を全国1位にしましたが、引き続き、生徒の実態、適性等に応じた進路指導に努めてまいりたいと考えています。</p>
ICTの活用	3件	<p>国も進めていることであり、県内でも取り組んでいただくことで学習機会の確保を進めていただきたい。</p> <p>複数のICT支援員等のサポーターが必要ではないでしょうか。</p> <p>ICT環境の整備について、学校が責任をもって整備するのならば賛成であるが、生徒(保護者)に買わせることには反対である。</p>	<p>頂いた御意見を参考に、ICT 活用の一層の充実を図ってまいります。</p>

項目	件数	寄せられた意見の内容	意見に対する県の考え方
医療的ケア	5件	<p>主治医がいる中での医ケア指導医が動ける体制づくりや看護師の常勤化等があれば、連携が一層密になるのではないかと。</p> <p>医療的ケアが必要な子供が増えており、その学校生活を保障していく方向性は当然のことであり、賛成である。</p>	<p>高度な医療的ケアが必要なケースが増えてきており、医療的ケアが必要な幼児児童生徒にとって、より良い学習内容やより安全な医療的ケア環境づくりについて、引き続き関係機関と連携し、検討してまいります。</p>
センター的機能の充実	4件	<p>特別支援学校にセンター的機能を負わせる発想を再考してはどうでしょうか。(知事部局と連携すべき)</p> <p>小中学校の特別支援教育の充実のため、特別支援学校のセンター的機能による訪問支援が十分にできるよう、担当者の人材育成と訪問に必要な予算措置に力を入れていただきたい。</p> <p>専任の教育相談主任については、過剰な配置にならないよう適正な配置が求められると思う。</p>	<p>頂いた御意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
県立特別支援学校の再編整備	5件	<p>現行ビジョンにある「高等特別支援学校」という表現がなくなりましたが、何か理由があるのでしょうか。</p> <p>また、職業コースは、設置校の就学区域以外の生徒は学ぶことができないため、職業コースの充実重要と考える。</p> <p>狭隘化により特別支援学校は、よい学習環境とは言い難い状況であるため、早急に解決していただきたい。</p>	<p>「高等特別支援学校」の設置は、職業教育の充実を図ることを目的に、他県を参考に検討してまいりましたが、本県においては職業コースを設置し、職業教育の充実に取り組み成果を上げてきたことから、全県に広げるためには、職業コースの設置校の拡充を検討することとしました。</p> <p>学校の現状を踏まえた上で、将来推計に基づいた整備計画を速やかに検討し、できる限り早期に特別支援学校の幼児児童生徒の適切な教育環境を整備することができるよう努めてまいりたいと考えています。</p>
その他	9件	<p>「境界知能(明らかに知的障害とは言えないが、境界線上にある者)」や「HSP(人一倍繊細な人)」の特性を有する人たちをもっとサポートする教育体制が必要ではないかと。</p>	<p>頂いた御意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>

(注) お寄せいただいた御意見の内容は、要約した上、類似の御意見は項目ごとに集約しています。